

【教科・学年・科目】地歴公民科 1年 世界史 A

【授業者・問い合わせ】五十嵐学 tsukufurekishi@gmail.com

【授業形態】ライブ配信

【授業の紹介】

週1回 Zoom でのライブ配信授業⇒直後に授業内容を踏まえた課題配信⇒課題への生徒の返答内容を踏まえて次授業、というサイクルをとっている。

Zoom 授業

歴史学習において重要となる“多様な視点”を獲得できるよう、Zoom の機能を活用しながら、クラス全体で議論を深められるように心がけている（入学したての1年生に対して、新たなクラスにおける議論の空間を創っていくことも大きな目的）。具体的には、問い X について、投票機能によってクラス全体の意見状況を生徒にも把握させる。史料 A を共有し、ブレイクアウト機能によって小グループで議論。再び、投票を行って意見の分布に変化があったかを確認したり、グループ議論の結果、自分の意見が変わった者にはクラス全体に対して発表してもらうなどする。このように、他人の視点を自分に取り入れたり、グループの意見をクラス全体で共有するなどして、議論の循環を図っている。

授業後の課題

1. 授業内容をまとめる課題、2. 授業時の発言を深める・広げる課題、3. 新たな史料を前に授業時の理解を手掛かりに自分で考えていく課題、といった段階で構成している。

*実際の課題例（授業中の議論を前提としているのでクラスによって内容は異なる）

Q1 今日の授業の中で、ヨーロッパとアジアの「強さ」を考える場合には、様々な観点があることが分かったと思います。どのような観点があるか、キーワードを列挙して下さい。

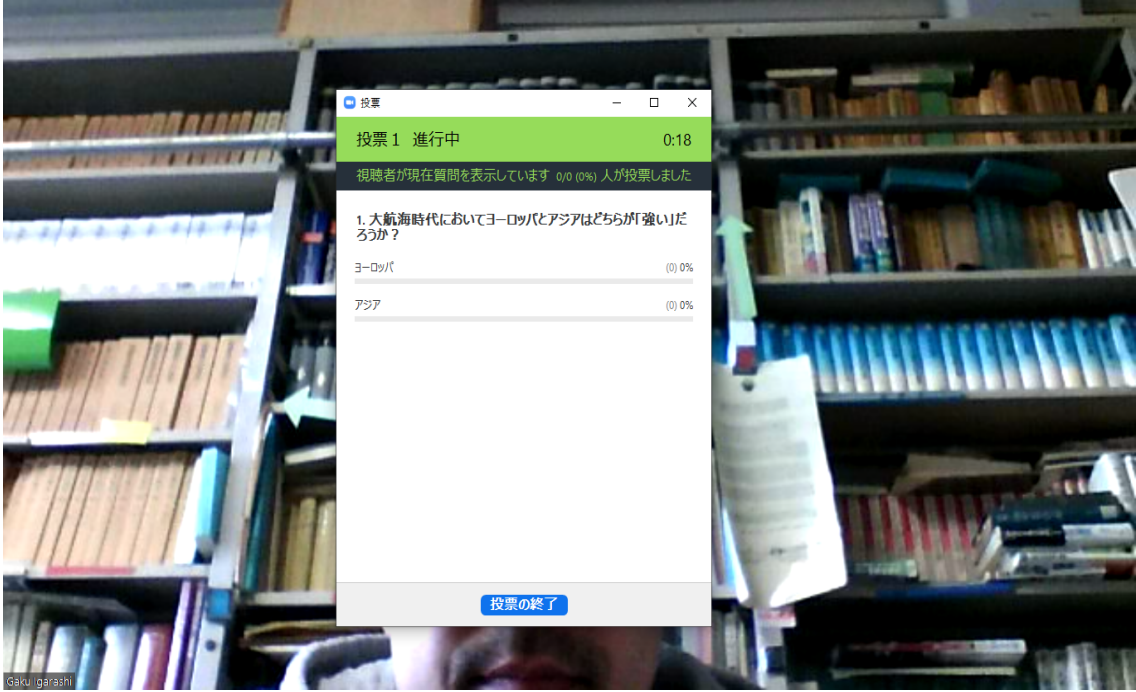
授業時の多様な
意見のまとめ

生徒の発言を拾い上げて、新たな課題とする

Q2 史料 A の状況について、インド側の史料もあると有意義だという発言がありました。それが現存するか分からないのですが、もしそれが存在した場合、どのような風に記されているか、想像して書いてみよう。

初見の史料に対して、自分で考えて、授業時の史料やその理解と結びつけさせる

Q3 史料 B は当時の様子が分かる、別の史料（史料 A とは違う著作物）である。資料 A と資料 B を照らし合わせてみると、どのようなことが見えてくるだろうか。



Gaku garashi